

概要 (Plan)	事業概要															
	管理番号	104	事務事業名	認定こども園整備事業	総合計画体系	章	節	分野	施策	重点P	総コスト	0				
						4		2	2	I-1						
	事業概要	市北部地域の市立大住幼稚園を、建て替えに併せて地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園として整備するほか、市中部地域における市立幼保連携型認定こども園の整備を検討							担当所属		輝くこども未来室					
	取組実績															
		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度					
	事業計画	・ 北部市立こども園実施設計 ・ 北部市立こども園整備工事			・ 北部市立こども園整備工事			・ 北部市立こども園開園								
	事業実績	○基本設計 ・ 北部地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園の整備に向けて、基本設計及び実施設計を行った。			○整備工事の開始 ・ 北部地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園の整備に向けて、大住幼稚園を仮設園舎に移転し、旧園舎の解体工事を行った。			○整備工事の完了 ・ 北部地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園の整備を行った。			○大住こども園の開園 ・ 市立では初となる幼保連携型認定こども園（大住こども園）が令和5年4月開園した。併せて仮設園舎の撤去を行った。					
	取組 (Do)					年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		指標		事業進捗率		目標	1.5		25.0		100.0					
単位		%	実績			1.5		25.0		100.0						
指標				目標												
単位					実績											
指標				目標												
単位					実績											
C (評価)		取組評価														
					令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	1次評価	達成度	A 目標を達成している （達成率100%以上）		A 目標を達成している （達成率100%以上）		A 目標を達成している （達成率100%以上）									
		備考														
A (行動)	次年度以降の対応															
					令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	2次評価	次年度への方向性	A. 拡充 （コストを増加させる）		A. 拡充 （コストを増加させる）		F. 完了 （コストをゼロとする）		F. 完了 （コストをゼロとする）							
		備考	整備工事を行うため。		整備工事を行うため。											

概要 (Plan)	事業概要													
	管理番号	105	事務事業名	民間保育園等整備事業	総合計画体系	章 4	節	分野 2	施策 2	重点P I-1	総コスト	0		
	事業概要	今後も就学前児童数の増加が見込まれるなか、待機児童の発生を抑止するため、保育園などを民設民営方式で整備							担当所属		輝くこども未来室			
取組 (Do)	取組実績													
		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			
	事業計画	・民間保育園開園						民間保育園整備						
	事業実績	○施設整備補助 ・社会福祉法人宇治福祉園が実施する幼保連携型認定こども園の整備に対する支援を行った。						小規模保育事業2園及び認可保育所（乳児園）1園の整備支援を行った。 （内訳） ほほえみ保育園京田辺（R4.11開園、小規模） まゆあいのおうち保育園（R5.4開園、小規模） ウェルネス保育園京田辺（R5.4開園、認可保育所）						
					年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	指標		事業進捗率			目標	100.0		100.0		100.0		－	
	単位	%				実績	100.0		100.0		100.0		－	
	指標					目標								
	単位					実績								
	指標					目標								
	単位					実績								
	C (評価)	取組評価												
			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
1次評価		達成度	A 目標を達成している（達成率100%以上）						A 目標を達成している（達成率100%以上）					
	備考													
A (行動)	次年度以降の対応													
		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			
	2次評価	次年度への方向性	C. 縮小（コストを減少させる）						F. 完了（コストをゼロとする）					
備考		令和4年度以降は小規模保育事業所の開園に向けた支援を行うため。												

概要 (Plan)	事業概要														
	管理番号	97	事務事業名	各種保育サービス事業	総合計画体系	章	節	分野	施策	重点P	総コスト	66,363			
						4		1	2	I-2、+1-2					
	事業概要	市内在住の保育を必要とする就学前児童の保護者の子育てと就労の両立を支援するため、一時的保育事業、病児保育事業の実施、市立保育所などにおける看護師の配置、AⅠによる保育所マッチングの実施など							担当所属		輝くこども未来室				
取組実績															
		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度				
	事業計画	・一時的保育事業 ・病児保育事業			・一時的保育事業 ・病児保育事業			・一時的保育事業 ・病児保育事業 ・看護師の配置			・一時的保育事業 ・病児保育事業 ・看護師の配置				
取組 (DO)	事業実績	○一時的保育事業 ・家庭での保育が困難になった児童を一時的に預かり、子育て支援を行った。 ○京田辺市病児保育事業 ・児童が疾病中又は回復期において、医療機関に付設された専用スペースで担当看護師、保育士による保育を浜口キッズクリニックにて実施した。 ○AⅠによる保育所マッチング ・導入に向けて総務省「地域IoT実装・共同利用推進事業」に応募し、採択を受けた。 ・令和3年度の保育所等新規入所調整において、AⅠを用いてのマッチングを行った。			○一時的保育事業 ・家庭での保育が困難になった児童を一時的に預かり、子育て支援を行った。(延べ利用数5,248人) ○京田辺市病児保育事業 ・児童が疾病中又は回復期において、医療機関に付設された専用スペースで担当看護師、保育士による保育を浜口キッズクリニックにて実施した。(延べ利用数600人) ○AⅠによる保育所マッチング ・令和4年度の保育所等新規入所調整において、AⅠを用いてのマッチングを行った。			○一時的保育事業 ・家庭での保育が困難になった児童を一時的に預かり、子育て支援を行った。(延べ利用数5051人) ○京田辺市病児保育事業 ・児童が疾病中又は回復期において、医療機関に付設された専用スペースで担当看護師、保育士による保育を浜口キッズクリニックにて実施した。(延べ利用数555人) ○AⅠによる保育所マッチング ・令和5年度の保育所等新規入所調整において、AⅠを用いてのマッチングを行った。			○一時的保育事業 ・R5.4に開園した大住こども園において、新たに一時的保育事業を開始、計3施設で家庭での保育が困難になった児童を一時的に預かり、子育て支援を行った。(延べ利用数4,792人) ○京田辺市病児保育事業 ・児童が疾病中又は回復期において、医療機関に付設された専用スペースで担当看護師、保育士による保育を浜口キッズクリニックにて実施した(延べ利用数825人)。また、R5.4に開園した大住こども園においても新たに看護師を配置し、病児保育(体調不良時対応型)を実施した(延べ利用数217人)。				
					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度						
	指標	AⅠマッチング導入による超過勤務時間の縮減率			目標	-	10.0	20.0	30.0						
	単位	%				実績	-	10.0	20.0	30.0					
	指標				目標										
	単位					実績									
	指標				目標										
	単位					実績									
	C (評価)	取組評価													
			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			
1次評価		達成度	B 概ね目標を達成している(達成率80%以上)			A 目標を達成している(達成率100%以上)			A 目標を達成している(達成率100%以上)			A 目標を達成している(達成率100%以上)			
	備考	今年度は、導入に伴う検証作業等により、縮減効果は見込めないと考えていたため、目標値は未設定													
A (行動)	次年度以降の対応														
		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度				
	2次評価	次年度への方向性	B. 維持(コストを同程度に維持する)			B. 維持(コストを同程度に維持する)			A. 拡充(コストを増加させる)			A. 拡充(コストを増加させる)			
	備考														

概要 （Plan）	事業概要															
	管理番号	116	事務事業名	中学校給食施設整備事業	総合計画体系	章	節	分野	施策	重点P	総コスト	3,036,296				
						4		2	6	I-3						
事業概要	中学校完全給食の早期実現と、ゆとりを持った給食時間のなかで、地産地消などによる京田辺らしい食育を実現するため、施設整備と運営手法について、最も効率的、効果的な方法を検討し、受入中学校への搬入路、学校給食施設及び受入設備などを整備								担当所属		学校給食課					
	取組実績															
		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度					
事業計画	・中学校給食共同調理場施設基本設計 中学校工事受入設備設計			・（仮称）学校給食センター及び中学校配膳室等に係る実施設計 ・（仮称）学校給食センター等新築工事			・（仮称）学校給食センター等新築工事 ・中学校配膳室等新築工事			・中学校完全給食実施						
取組 （Do）	事業実績			○中学校給食基本計画の策定。 ○給食調理施設基本設計及び実施設計の策定に着手した（委託期間 令和4年10月まで）			○（仮称）学校給食センター新築工事等基本設計を策定し、実施設計の策定に着手した（委託期間 令和4年10月まで）			（仮称）学校給食センター及び中学校配膳室等に係る実施設計を策定した。 （仮称）学校給食センター新築等工事を着工した。			○京田辺市学校給食センターを新築。 ○田辺・大住・培良中学校配膳室及び培良中学校EV棟を新築。			
					年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	指標		中学校給食基本計画の策定の進捗率			目標	100.0		100.0		100.0		100.0			
	単位	%				実績	100.0		100.0		100.0		100.0			
	指標		給食調理施設基本設計及び実施設計の策定の進捗率			目標			50.0		100.0		100.0			
	単位	%				実績			50.0		100.0		100.0			
	指標		（仮称）学校給食センター等新築工事			目標					1.0		100.0			
	単位	%				実績					1.0		100.0			
	取組評価															
					令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
C（評価）	1次評価	達成度	A 目標を達成している（達成率100%以上）			A 目標を達成している（達成率100%以上）			A 目標を達成している（達成率100%以上）			A 目標を達成している（達成率100%以上）				
		備考														
A（行動）	次年度以降の対応															
					令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	2次評価	次年度への方向性	A. 拡充（コストを増加させる）			A. 拡充（コストを増加させる）			A. 拡充（コストを増加させる）			F. 完了（コストをゼロとする）				
		備考	中学校完全給食の早期実現に向け、給食調理施設基本設計及び実施設計の策定を進める。			中学校完全給食の早期実現に向け、（仮称）学校給食センター実施設計の策定を進め、同センターの新築工事を着工する。			中学校完全給食の早期実現に向け、（仮称）学校給食センター新築工事を着工し、中学校配膳室等の実施設計を策定した。			京田辺市学校給食センター及び各中学校における給食受入施設である配膳室棟を新築した。				

概要（Plan）	事業概要													
	管理番号	115	事務事業名	通学路等安全対策事業	総合計画体系	章	節	分野	施策	重点P	総コスト	1,322		
						4		2	5	I-4				
事業概要	地域と学校、行政が協力し、児童が安全に安心して通学できるように、通学路の通学方法や危険箇所の把握と改善対策を実施するとともに、児童に対する防犯対策を推進								担当所属		学校教育課			
	取組実績													
		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			
事業計画	事業計画		・通学路安全推進会議の開催（年2回） ・通学路安全点検踏査事業実施			・通学路安全推進会議の開催（年2回） ・通学路安全点検踏査事業実施			・通学路安全推進会議の開催（年2回） ・通学路安全点検踏査事業実施			・通学路安全推進会議の開催（年2回） ・通学路安全点検踏査事業実施		
	事業実績	○通学路安全推進会議の開催（1回） ○通学路一斉調査・安全対策必要箇所 3箇所追加 ・平成24年度～令和2年度実施状況（完了124箇所・実施中3箇所・未定6箇所） OPTA通学路安全要望について対応			○通学路安全推進会議の開催（3回） ○通学路一斉調査・安全対策必要箇所 2箇所追加 ・平成24年度～令和3年度実施状況（完了123箇所・実施中8箇所・未定10箇所） OPTA通学路安全要望について対応			○通学路安全推進会議の開催（1回） ○通学路安全点検踏査事業実施（1回） ○安全対策必要箇所 2箇所追加 ○平成24年度～令和4年度実施状況（完了135箇所・実施中6箇所・未定3箇所） OPTA通学路安全要望について対応			○通学路安全推進会議の開催（2回） ○通学路安全点検踏査事業実施（1回） ○安全対策必要箇所 2箇所追加 ○平成24年度～令和5年度実施状況（完了137箇所・実施中8箇所・未定3箇所） OPTA通学路安全要望について対応			
						年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
取組（Do）	指標		通学安全推進会議の開催			目標	2	2	2	2				
	単位	回				実績	1	3	1	2				
	指標		安全対策実施箇所数			目標			9	9				
	単位	箇所				実績			9	10				
	指標					目標								
	単位					実績								
C（評価）	取組評価													
		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			
	1次評価	達成度	B 概ね目標を達成している（達成率80%以上）			A 目標を達成している（達成率100%以上）			C 目標を達成していない（達成率80%未満）			A 目標を達成している（達成率100%以上）		
備考								通学路安全推進会議については、第1回会議で安全対策実施箇所の確認を行い、着実に取り組みを進めたことから、第2回会議の開催を要しなかった。						
A（行動）	次年度以降の対応													
		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			
	2次評価	次年度への方向性	B. 維持（コストを同程度に維持する）			B. 維持（コストを同程度に維持する）			B. 維持（コストを同程度に維持する）			B. 維持（コストを同程度に維持する）		
備考		通学路を取り巻く環境変化への対応のため、引き続き事業実施が必要であるため			通学路を取り巻く環境変化への対応のため、引き続き事業実施が必要であるため			通学路を取り巻く環境変化への対応のため、引き続き事業実施が必要であるため			通学路を取り巻く環境変化への対応のため、引き続き事業実施が必要であるため			

概要 (Plan)	事業概要													
	管理番号	27	事務事業名	男女共同参画推進事業	総合計画体系	章	節	分野	施策	重点P	総コスト	10,890		
						1		6	3	I-5				
	事業概要	男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発、市民、事業者、行政が連携した家庭、地域、学校、職場における取組みの促進、男性の家事・育児参画促進など、ワーク・ライフ・バランス及び女性活躍の推進。活動拠点整備に向けた検討							担当所属	人権啓発推進課				
	取組実績													
		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			
	事業計画	・男女共同参画週間事業 ・子どもを対象とした男女共同参画推進事業 ・男女共同参画実践モデル事業 ・女性に対する暴力をなくす運動週間事業			・男女共同参画週間事業 ・子どもを対象とした男女共同参画推進事業 ・男女共同参画実践モデル事業 ・女性に対する暴力をなくす運動週間事業			・男女共同参画週間事業 ・子どもを対象とした男女共同参画推進事業 ・男女共同参画実践モデル事業 ・女性に対する暴力をなくす運動週間事業			・男女共同参画週間事業 ・子どもを対象とした男女共同参画推進事業 ・男女共同参画実践モデル事業 ・女性に対する暴力をなくす運動週間事業			
取組 (Do)	事業実績	○第2次京田辺市男女共同参画計画の進行情況及び第3次京田辺市男女共同参画計画の策定に係る審議 ・男女共同参画審議会（5回）・男女共同参画推進会議（4回）・ワーキング部会（4回） ○第2次京田辺市男女共同参画計画に基づく事業の実施 ・男性の家庭生活向上講座（参加者33人） ・女性の活躍事例紹介（4人） ・子どもを対象とした男女共同参画推進事業（開催3校、464人） ・男女共同参画推進のための講座（3回シリーズ、31人） ・職員研修（21人） ・男女共同参画推進員の募集・支援（推進員73人、研修会参加者7人） ・男女共同参画週間事業（フォーラム30人、子育て講座17人） ・女性に対する暴力をなくす運動週間（啓発講演会参加者35人） ・デートDV防止啓発事業（田辺高校2年生、同志社女子大学学生）			○第2次京田辺市男女共同参画計画の進行情況及び第3次京田辺市男女共同参画計画の評価方法に係る審議 ・男女共同参画審議会（2回）・男女共同参画推進会議（1回）・ワーキング部会（1回） ○第3次京田辺市男女共同参画計画に基づく事業の実施 ・男性の家庭生活向上講座（参加者21人） ・市民等の活躍事例紹介（4人） ・子どもを対象とした男女共同参画推進事業（開催3校、400人） ・男女共同参画推進のための講座（2回連続講座×2回、48人） ・職員研修（34人） ・男女共同参画推進員の募集・支援（推進員75人、セミナー参加者17人） ・男女共同参画週間事業（フォーラム70人、子育て講座は中止） ・女性に対する暴力をなくす運動週間（啓発講演会参加者40人） ・デートDV防止啓発事業（田辺高校2年生、同志社女子大学学生）			○第3次京田辺市男女共同参画計画の進行情況 ・男女共同参画審議会（1回）・男女共同参画推進会議（1回）・ワーキング部会（1回） ○第3次京田辺市男女共同参画計画に基づく事業の実施 ・男性の家庭生活向上講座（参加者28人） ・市民等の活躍事例紹介（4人） ・子どもを対象とした男女共同参画推進事業（開催3校、294人） ・男女いきいき地域セミナー（1団体、61人） ・男女共同参画推進のための講座（2回連続講座×2回、42人） ・職員研修（44人） ・男女共同参画推進員の募集・支援（推進員73人、セミナー参加者24人） ・男女共同参画週間事業（フォーラム110人、子育て講座35人） ・女性に対する暴力をなくす運動週間（啓発講演会参加者35人） ・デートDV防止啓発事業（田辺高校2年生、同志社女子大学学生）			○第3次京田辺市男女共同参画計画の進行情況 ・男女共同参画審議会（1回）・男女共同参画推進会議（1回）・ワーキング部会（1回） ○第3次京田辺市男女共同参画計画に基づく事業の実施 ・男性の家庭生活向上講座（参加者51人） ・市民等の活躍事例紹介（4人） ・子どもを対象とした男女共同参画推進事業（開催3校、202人） ・男女いきいき地域セミナー（開催なし） ・男女共同参画推進のための講座（2回連続講座×2回、79人） ・職員研修（45人） ・男女共同参画推進員の募集・支援（推進員74人、セミナー参加者25人） ・男女共同参画週間事業（フォーラム117人、子育て講座21人） ・女性に対する暴力をなくす運動週間（啓発講演会参加者59人） ・デートDV防止啓発事業（田辺高校2年生、同志社女子大学学生）			
			年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
	指標	男女いきいき・さんかくセミナー参加者数		目標	90	60	48	96						
	単位			人	実績	31	48	42	79					
	指標	男女共同参画実践モデル事業開催団体数		目標	3	3	3	3						
	単位			団体	実績	0	0	1	0					
	指標	全審議会等における女性委員の割合		目標	33.0	35.0	36.6	36.0						
	単位			%	実績	34.3	36.4	35.3	38.3					
	C (評価)	取組評価												
			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
1次評価		達成度	C 目標を達成していない（達成率80%未満）			C 目標を達成していない（達成率80%未満）			C 目標を達成していない（達成率80%未満）			C 目標を達成していない（達成率80%未満）		
		備考	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、セミナーは定員を減らして開催した。また、実践モデル事業は開催希望団体がなく、実施することができなかった。			男女いきいき・さんかくセミナーは定員を超える申込みがあったが、欠席者があり定員を下回る実績となった。実践モデル事業は1団体から開催希望があったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となった。			男女いきいき・さんかくセミナーは申込みが定員を超え抽選となったが、当選者の出席率が8割に満たなかった。実践モデル事業は他に開催希望がなく、1団体のみの実施となった。審議会等の女性委員割合は前年度よりも下がった。			男女いきいき・さんかくセミナーは申込みが定員を超え抽選となったが、欠席者があり定員の8割を下回る実績となった。実践モデル事業は開催希望がなく、今年度は実施がなかった。審議会等の女性委員割合は目標を上回った。		
A (行動)		次年度以降の対応												
		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			
	2次評価	次年度への方向性	B. 維持（コストを同程度に維持する）			B. 維持（コストを同程度に維持する）			B. 維持（コストを同程度に維持する）			A. 拡充（コストを増加させる）		
	備考										第3次京田辺市男女共同参画計画（改訂版）の策定を進めるため。			